

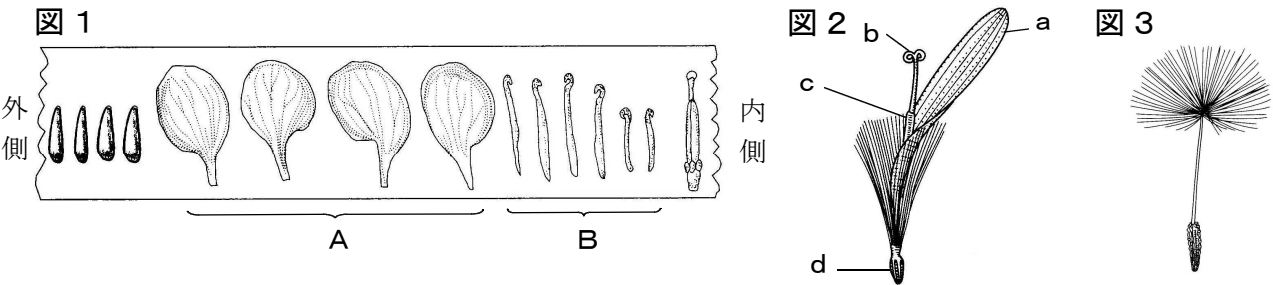
【活用問題】

「 花のつくりとしくみ 」	() 組 () 番	氏 名
---------------	----------------------	--------

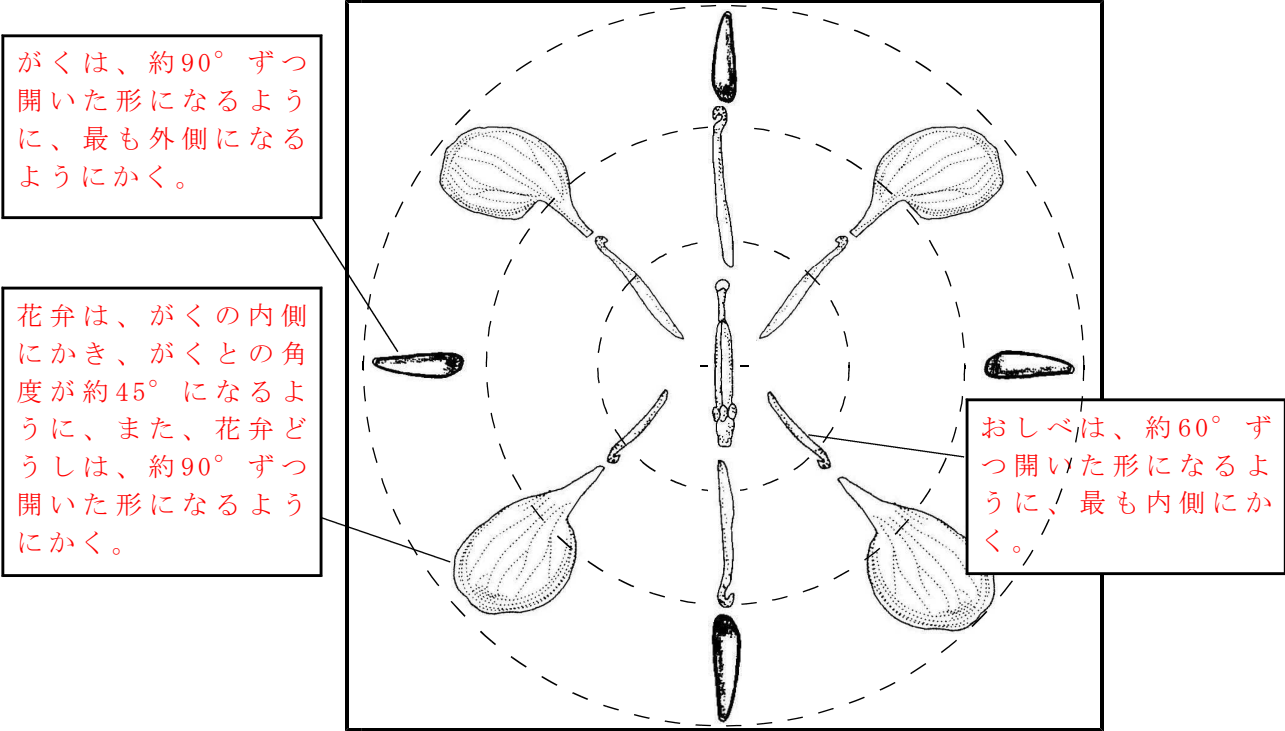
裕子さんは、アブラナとタンポポについて、次のような観察を行った。下の(1)～(3)の問いに答えなさい。

〔観察〕

- ① アブラナの花の各部分を外側にあるものから順にていねいにとり、図1のようにセロハンテープで台紙にはりつけた。
- ② タンポポの1つの花をルーペで観察し、図2のようにスケッチした。
- ③ タンポポの果実をルーペで観察し、図3のようにスケッチした。



(1) 次の図は、図1のアブラナの花の各部分をめしべを中心にして、花のつくりがわかるように示したものである。足りない部分をおぎなって完成させなさい。



(2) 図1のA、Bに当たるものは、図2のa～dのどれか。それぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

A	a
B	c

(3) 裕子さんは、次のように**考察**した。下の①～③の問いに答えなさい。

[考察]

アブラナとタンポポの花のつくりは異なるので、2つは違う種類の植物だとわかった。アブラナの花は、花弁が1枚ずつに分かれているので（ア）類である。また、aタンポポの花は、花弁が1枚しかないので、（イ）類である。しかし、花弁やおしべの数がちがっているが、めしべの根もとにふくらんだ（ウ）があるので、アブラナもタンポポも（エ）植物である。

（ウ）の中には（オ）があり、この（ウ）が成長して果実になる。
bタンポポの果実は毛のようなものがついていて、アブラナの果実は熟すとさける。
つまり、花はなかまをふやすはたらきをしているといえる。

① 考察の（ア）～（オ）に適切な言葉を入れなさい。

ア	離弁花	イ	合弁花	ウ	子房
エ	被子	オ	胚珠		

② 下線部 a には誤りがある。下線部 a を正しく書き直しなさい。

(例) タンポポの花は、花弁が1つにくっついている。

タンポポは、5枚の花弁がたがいにくっついて、1枚のように見える。(合弁花)

③ 下線部 b のしくみによって、タンポポやアブラナの種子はどうなるか。なかまをふやすことに関係させて書きなさい。

(例) 遠くに種子が飛んで、多くのなかまをふやすことができるようになる。

被子植物は、なかまをふやすために、果実が様々な形になっている。

- ・動物が食べて、ふんとして遠くに運ばれる。
- ・風によって遠くに運ばれる。